

統合ヘルスケアとヨーガ療法



第23回

Japan Yoga Therapy Society Conference NAGOYA 2025

日本ヨーガ療法学会 研究総会 名古屋大会

2025年7月5日(土)・6日(日)

名古屋大学 豊田講堂

第23回

日本ヨーガ療法学会研究総会 名古屋大会

2025年7月5日(土)・6日(日) / 名古屋大学 豊田講堂

◎ 大会長講演



佐藤 寿一 (さとう じゅいち) Sato Juichi

名古屋大学医学部附属病院総合診療科 病院教授
日本プライマリ・ケア連合学会認定 プライマリ・ケア認定医・指導医 日本東洋医学会認定 漢方専門医・指導医
日本内科学会認定 認定内科医 社会医学系専門医協会認定 専門医・指導医 日本医師会認定 産業医
日本プライマリ・ケア連合学会代議員・中部ブロック支部支部長 日本東洋医学会代議員・学術教育委員会担当理事・
東海支部支部長 日本産業衛生学会代議員 愛知県医師会「現代医学」誌編集委員会副委員長

1986年名古屋大学医学部卒業。1993年名古屋大学大学院医学系研究科博士課程卒業、医学博士取得。1994年～1995年米国インディアナ大学医学部リサーチフェロー。1996年名古屋市立大学医学部公衆衛生学助手。1999年名古屋大学医学部附属病院総合診療部助手、2001年同講師。2011年名古屋大学大学院医学系研究科総合診療医学講師。2021年名古屋大学医学部附属病院総合診療科病院教授

◎ 基調講演



木村 慧心 (きむら けいしん) Kimura Keishin

世界ヨーガ療法連合創設役員 世界保健機関 (WHO) ヨーガ指導基準策定部会委員
アジア太平洋ヨーガ療法協会代表役員

SVYASA 大学大学院 /AMITY 大学・カイヴァルヤダーマ・ヨーガ研究所附属大学客員教授
(一社) 日本ヨーガ療法学会理事長 NPO 法人日本ヨーガ療法士協会理事長

東京教育大学理学部卒業。1982年、ヨーガ・ニクタン修道院 (インド・リシケシ) 開祖スワミ・ヨーゲシヴァラナナダ大師より聖名 (ギヤナ・ヨーギ) を拝受し得度。ラージャ・ヨーガ・アチャルヤ (阿闍梨) となり、インド内外で伝統的ラージャ・ヨーガ指導を開始。2019年8月、ヨーガの発展と普及に多大な貢献をしたインド国外2名の内の一人として「第1回インド首相賞」受賞。現在、日本、インド、欧州、南北米等、世界各国で伝統的ヨーガとヨーガ療法の普及活動に従事。

◎ 招待講演



工藤 千秋 (くどう ちあき) Kudo Chiaki

医療法人社団くどうちあき脳神経外科クリニック理事長・院長
日本専門医機構認定 脳神経外科専門医 日本認知症学会専門医・指導医

「脳と心の存在を自分の眼で確かめたい」との思いから脳神経外科医を志し、鹿児島市立病院救命救急センター、東京労災病院、英国パーミンガム大学で脳外科を学ぶ。英国時代には、パーキンソン病に外科治療の道を切り開くために師である E.R.Hitchcock 教授と日々奔走した。2001年に現クリニックを開院。以来、脳外科疾患の他、認知症や心の病などの治療に情熱を傾け患者の「主治医」であり続けることを医の原点としている。【著書】神経クリニク (サンマーク出版) サプリが命を躍動させるとき あきらめない! その頭痛とかくれ貧血 (文芸社) 医師たちが選んだ認知症への切り札 驚きの改善報告とミエリン仮説の真実 (現代書林) エビデンスに基づく認知症 補完療法へのアプローチ (ぱーそん書房)



富田 恵 (とみた めぐみ) Tomita Megumi

アメリカ カリフォルニア カイザーパーマネンテセントラルバレー メディカルグループ副医長
米国腫瘍内科臨床専門医 地域がん診療連携拠点病院認定機関・乳がん専門認定機関の会長

北里大学看護学部にて看護師・保健師免許を取得後、東海大学医学部医学科に学士入学し日本国医師免許を取得。その後、マウントサイナイ大学ベイスイスラエル病院にて総合内科研修、エール大学で腫瘍内科専門医フェロウシップを修了。他に、コーネル大学医療経営学修士号を取得。アリゾナ大学統合医療プログラムのフェロウシップを修了。全米最大のメディカルグループであるカイザーパーマネンテメディカルグループのセントラルバレーで血液腫瘍科の医局長を務めた後、現在は内科専門医療部門の統括責任者として勤めながら、がん全般 (特に乳がん) の予防から治療までの全体管理を指揮する立場にあり、災害医師司令官の責務も担っている。



Dr. Concepcion Campa Huergo (コンセプション カンパ ウエルゴ)

ハバナ大学名誉博士

ハバナ大学で生化学と薬学の学位を取得。卒業後、「Empresa de Producción de Biológicos Carlos J. Finlay」に品質管理の専門家として参加し、様々なワクチンの生化学的制御のための新技術開発に貢献。1984年にB型髄膜炎に対するワクチン開発チームの一員となり、5年の研究開発を経て世界で初めてのワクチンを開発。1991年にはフィンレー研究所の設立を率い総責任者となり、キューバの予防接種プログラムのために他のワクチンも開発する。その後、統合医療の研究を始め、自然医薬品の研究開発など、2014年までフィンレー研究所の総責任者として活動。1991年から2011年までは政治局・議会・国務評議会のメンバーも務める。

さらに

様々な療法家が協力し、名古屋大学医学部附属病院総合診療科で行ってきた「ラウンドテーブル」のデモンストレーションも当日実施予定!

※ラウンドテーブルとは、西洋医学と補完代替療法とを組合せ、最適な治療を最適なタイミングで選択するためのディスカッションの場のことです